

第 19 回シンポジウム開催報告（2026 年 5 月 23 日開催）

研究普及委員会 渋谷照夫

「AI 時代にこそ真価を問う人間中心の情報システム ～人が出会い、深い対話をするために～」を全体テーマに情報システム学会第 19 回シンポジウムを 2026 年 5 月 23 日に青山学院大学青山キャンパス総研ビルにて、ハイブリッド（オンライン含む）で開催しました。参加者は、計 30 人（会場参加：25 人、オンライン参加：5 人）でした。

今回は全体テーマに沿って、先ず基調講演としてご講演いただきました。

・タイトル：「出会うための情報システム」ー 探索ログ／学習ログで“偶然の出会い”を設計する（人間中心・対面重視の DX）ー

・講演者名：木村京子様 有限会社ラウンドテーブルコム サステナビリティ推進室

本講演は、「デジタルデータを「受動的な消費」から「主体的な創造」へ」という斬新な先進的な視点で、正に私たち人間が創る、活用する情報、情報システムについての在り方、取組実践に関する貴重な内容であったと思います。参加いただいた方々からも、初めての貴重な情報、気付きをいただいたとの声が聞かれました。

次に、2025 年度浦昭二記念賞・特別賞を受賞された 2 名の方に、特別賞受賞内容（特徴、事例など）をご講演いただきました。講演者情報、講演タイトルを以下に報告いたします。

・講演 1：砂田薫様（国際大学グローバル・コミュニケーション・センター主幹研究員）

タイトル：情報システム進化論：生命の前進を支えるデザインへ

・講演 2：蒼海憲治様

タイトル：『プロマネの現場から』連載 18 年の歩みと“人間中心の情報システムへの想い”

ご講演 1 では、短い時間の中で、書籍『情報システム進化論』に基づき、人間中心の情報システムの定義、条件から実践に役立つ豊富な事例をご紹介いただきました。

ご講演 2 では、プロマネについて、大規模 PJ から失敗克服リカバリ、海外での取り組みなど、実経験からの豊富な事例が語られました。そして、「現場で人が人らしく働けることができているか」ということが PM にとって、更に管理者、経営者にも、最も重要な責任項目であること、正に、人間中心の情報システムの神髄を改めて語っていただきました。

アンケートでの満足度は全体に高く、基調講演については以下の回答をいただきました。

「講演者の方のお考えがとてもよく伝わりました。後半から、ご自身の熱い思いを語っていただけた。」「私たち人間が創る、活用する情報、情報システムについて、新鮮な先進的な視点での内容であったと思います。」などの意見が寄せられました。

以上、ご報告いたします。

ご参加された方々、ご支援いただいた方々、皆様、ありがとうございました。